

# つなぐ！むらづくり便り

中山間地域振興に役立つ情報を新潟県からお届けします！

## 建設的な意見交換に向け、事前調整をていねいに実施した事例の紹介

地区課題の解決は、住民同士の意見交換の場が入り口となりますが、参加者の想いは様々であり、必ずしも前向きな意見が集まるとは限りません。

今回は、ていねいな事前調整により、建設的な意見交換会に方向転換できた事例を紹介します。

### 問題



意見交換会で取組に後ろ向きな意見ばかりがでて  
まとまらず、取組を始めることができない！

### 状況

- ・将来プランの初回の地域向け説明会（意見交換会）において、参加者からは「こんな条件の悪い地域によそから担い手なんて来ない」「自分たちではもうどうにもならないから行政が何とかして」等、**後ろ向きの意見が続出し**、場が紛糾
- ・今後取り組むべき具体的な課題を設定するまでに至らず、**取組への理解も得られなかった。**



### 対応

参加者を個別訪問しニーズを把握した上で、改めて意見交換会を実施

- ・意見交換会の主旨を理解いただくことや、当人が考える地域の課題等の意見の吸い上げを目的に、**参加者への個別訪問を実施**
- ・吸い上げた意見をもとに「法人組織設立」「鳥獣被害対策」「地域活性化」の3つの地域課題を設定し、第2回意見交換会では課題ごとにワークショップを開催。参加者個々が最も興味を持つ課題別ワークショップに参加してもらった。



### 結果

**成功！**

- ・前向きに具体の解決策を議論する意見交換が交わされ、**スムーズに将来プランの策定が進んだ。**
- ・**課題ごとのワーキングチーム体制**が提案され、それぞれで活動を進めることに決定



### 気付き

**夢や理想を思い描く前に、農業者が本当に課題としていることを事前によく聞く姿勢が必要**

- ・集落のあるべき姿・将来像を話し合う前に、農業者それぞれが感じている課題や思いをよく聞きとり、共通の課題や対応策が何なのか整理することで、話し合いをスムーズに進められる。